



# 心を健康にしてくれた 看護学生さんへ

【茨城県】しょうだ庄田 えり恵理 40歳

「退院が決まりましたよ」

担当してくれた看護学生さんが目に涙をいっぱいのために教えに来てくれました。

私の息子は事故で重傷を負い、ドクターヘリで病院に運ばれました。集中治療室から小児病棟に移動したある日、看護学校の実習生を受け入れてもらえませんかとお願いされました。当時、私は不安と心配で眠れない日を送っていました。このような状況で実習に来てもらっても迷惑を掛けてしまうのではないかと悩みました。しかしこれも何かのご縁かもしれないと思い、私たちが良ければ協力させていただきますと来ていただくことにしました。

男性の看護学生さんが担当に

なり、すぐに2人は意気投合して趣味や好きなテレビや音楽の話をしました。なぜ看護師を目指したのかなどたくさんお話ししてくれました。

すると、息子の表情もみるみる明るくなり、ついに笑った顔を見せてくれました。けがは医師が治し、心は看護スタッフが治してくれたんだ！とその時、心にぐっとくるものがありました。

退院が決まった時、感極まって誰よりも先に泣いてくれた看護学生さんに私は救われました。けがを治すだけでなく生きる支えとなってくれたことをとても感謝しています。

回復の喜びを分かちあえるのは家族だけだと思っていました

が、こんなふうに見てくれた方々とともに喜び合えることを初めて知りました。

今春、息子は第1志望の学校に合格しました。フライトドクターになる夢を叶えるために一生懸命です。

私たちはあの日の看護のことを想うと心が温かくなります。息子が体験した看護経験が将来誰かの役に立つと信じています。